

- ・摂食障害：補助として使用します。
- ・神経性大食症
- ・神経性拒食症：胃が重く感じることがあります。一度に少量の物しか口にできません。
- ・眼精疲労：遠近調節のときに、眼球周囲の筋肉の痛

みを伴います。

MODALITY

➤ 暖かさ

Nitricum acidum 硝酸 HNO_3 [粘膜移行部の炎症]

Nitric acid- HNO_3

BACK GROUND

Nitricum acidumは、水分を含まないきわめて純粋な状態では、無色透明で腐食性の非常に強い有毒な液体です。特有の臭気をもっています。水に溶けやすい性質です。比重は1.502。光により分解して二酸化窒素を生成し、湿った空気中では白煙を生じます。濃硝酸は強い酸性で、金・白金、白金族を除く金属を、酸化して溶かす強力な作用があります（鉄・クロム・アルミニウム・カルシウムなどは濃硝酸には侵されませんが、希硝酸に溶解するものがあります）。また、可燃物と混合すると発火・爆発の危険性があります。硝酸の生成法は、白金など触媒にしてアンモニアを酸化し、一酸化窒素に変え、それをさらに二酸化窒素にして、これを水に吸収させることによって、硝酸をつくり出します（オストワルト法 $\text{NH}_3 + 2\text{O}_2 \rightarrow \text{HNO}_3 + \text{H}_2\text{O}$ ）。

工業用の合成硝酸には、純度が98%、62%、50%のものがあ、黄色ないし赤褐色を呈しているものがあります。冶金、硫酸・リン酸などの製造、ピクリン酸・ニトログリセリンなどの硝酸塩やニトロ化合物・肥料の製造、火薬類の製造、金属の洗浄、セルロイド工業などに用いられています。

硝酸の毒としての作用は、主に組織凝固性腐食作用を示します。その作用部位は、主に皮膚、粘膜、皮膚粘膜移行部です。人の場合の経口致死量は、推定で69%硝酸の場合3～8mlとされています。

症状は、経口の場合、口腔・咽喉・食道粘膜の腐食（即時の激痛、嚥下困難、壊死部分の変色）、発熱、潰瘍形成、ときに胃穿孔や食道穿孔により、激しい腹痛と血様嘔吐になり、声門浮腫による呼吸障害を起こします。血圧は急激に低下します。体液・電解質の喪失、ショック、食道や幽門部の狭窄を起こします（急性期を脱しても、通常、2～3週間で発症してきます。数か月や数年後に発症する例もあります）。

経皮の場合、重篤な皮膚の化学熱症（疼痛、壊死、局所感染、瘢痕形成）が起こります。重篤な場合、体液・電解質の喪失、ショックへと続きます。眼に入った場合は、激痛を起こし、角膜炎、結膜炎、角膜混濁、視力障害、失明へとつながります。

吸入した場合には、咽頭・気管・気管支・肺の炎症、咳嗽、呼吸困難、全身の脱力感と胸部絞扼感、気道内分泌物の増加、気道内出血、泡沫状喀痰（肺水腫）、めまいなどを起こします。

FIRST PROVING

ハーネマン（『Chronic Diseases』）

MIND

Nitricum acidumタイプは、一般的に細身でやせていて、神経質です。お腹が弱く、すぐに下痢をする傾向があります。虚弱体質なので、風邪を引きやすく、すぐに疲れてしまいます。イライラしていることが多く、自己中心的で、気むずかしく、虚無的な態度を示し、他人に対しては愛情を見せませんが、無力な人が苦しんでいるときにだけ同情心を示します。陽気になることはなく、いつでも不満をもっています。

自分の犯したミスについても怒りを感じます。自分の心の中が穏やかではないために、外からの影響に対して過敏に反応します。過去に起こった嫌な出来事をずっと覚えていて、自分に対して嫌なことをした人を許すことなく、いつまでも嫌い、復讐心を執念深くもっています。そのため、このタイプの人は、最初は同情心もあり良い友達になりますが、友人の言動を素直に受け入れたり、信じることはありません。些細なことの積み重ねからしだいに猜疑心が生まれ、憎しみの感情を膨らませていき、最終的には執念深い敵になってしまうことがあります。

とくに朝は機嫌が悪いです。悲観的で、健康、癌や死、将来について、異常なほど過剰に心配します。乗り物に乗ると体調が改善します。また、全身に締めつけられるような感じがあります。

AFFINITY

Nitricum acidum は、粘膜と皮膚の移行部（とくに口、喉、肛門など）、腺組織（とくに前立腺、唾液腺など）、肝臓、皮膚、血液、管状の器官などに親和性があります。

CLINICAL APPLICATIONS

消化器系

- ・胃潰瘍：脂っこい物が大好きです。塩からい物も好きです。卵を嫌います。朝になると、喉が渴きますが、牛乳を飲むと消化不良や吐き気を催すことがあります。異嗜があることもあります。
- ・出血性潰瘍性結腸直腸炎
- ・裂肛
- ・痔核：排便後に数時間にわたって続く強い痛みを伴います。
- ・肛門付近のいぼ
- ・大腸炎
- ・口角部の炎症や潰瘍、いぼ：吐息は悪臭がします。唾液は多く出て、ときに出血性のものになります。
- ・舌の潰瘍：強い口臭がします。唾液に血が混ざっていることもあります。

精神

- ・病気や死に対する非常に強い恐怖：とくに癌やエイズなどの不治の病のとき。
- ・うつ病：非常に悲観的な考えをもっています。朝は、とくにイライラして不機嫌になる傾向があります。
- ・パニック障害、小発作
- ・心気症：非常に自己中心的なので、他人との喧嘩も多い傾向があります。自分から謝ることはありません。

泌尿生殖器系

- ・生殖器周辺のいぼ：感覚過敏でなっていて、容易に出血します。
- ・泌尿生殖器系の潰瘍性病変：分泌物は悪臭があります。
- ・陰炎：生理前後にかゆみがあり、性交によって悪化

します。おりものは、不快な匂いがします。

- ・前立腺炎、龟头炎
- ・性欲亢進
- ・強い尿臭（Benz-acid）：尿は少量で褐色、血尿、蛋白尿で、悪臭がします。尿道はヒリヒリして焼けるような感覚があります。排尿時に尿が冷たい感じがすることがあります。

- ・淋病

■皮膚：とくに皮膚と粘膜の接合部に重要なレメディです。

- ・いぼ
- ・乾癬、湿疹
- ・関節の曲がる部位や指の皮膚のひび割れ
- ・爪周囲炎：刺すような痛みを伴うことがあります。また、足の悪臭のある発汗があります。

その他

- ・頭痛：外部から圧迫されているような（バンドを頭に締めつけたような）痛みで、帽子をかぶると悪化します。
- ・鼻血：夜に悪化します。
- ・腫瘍、癌：舌、小腸、直腸、口腔、咽頭部、子宮、腔、乳腺、脳など
- ・Sycotic remedy として

MODALITY

➤ 暖かさ、衝撃のない受動的な運き（車に乗る、飛行機に乗るなど）

❏ 寒さ、寒い空気、湿気、暑い日、騒音、わずかな接触、夜、睡眠不足、牛乳を飲んだ後など

RELATIONS

- ・Antidoted by：Calcarea carbonica, Hepar sulphur, Mercurius, Mezereum, Sulphur
- ・It Antidotes：Calcarea carbonica, Digitalis, Mercurius
- ・Compatible before：Calcarea carbonica, Pulsatilla, Sulphur, Arnica, Kreos, Secale
- ・Compatible after：Calcarea carbonica, Natatum carbonicum, Pulsatilla, Sulphur, Thuja, Carb animalis, Kali carbonicum, tuberculosis
- ・Incompatible：Lachesis, Hepar sulph